

# パックテスト(COD調査キット)一式

## 標準色くCOD(低濃度)



mg O/L  
COD

5分測定  
40℃-100℃  
5分-30℃  
4分-30℃

この商品は、児童、生徒が使用する場合には、  
かならず先生あるいは保護者の指導のもとで使用してください。



## パックテスト 使用上の注意

測定の前には、かならず手を洗きましょう。

パックテストの中には少量ですが化学薬品が入っています。

- 内容物が目に入ってしまったら → すぐに15分以上、多量の  
水で洗い流してください。
- 内容物が手や皮膚に触れたら → すぐに水で  
洗い流してください。
- 内容物が口に入ってしまったら → すぐに水で口の中を  
洗い流してください。

内容物も飲み込んでしまったり、上記の処置後に異常があった場合には、すぐに医師の診察を受けてください。

使用済みのパックテストは中身を缶に吹き出し、紙に包んで「燃えるゴミ」として処分してください。

なお、特別取扱いが必要とするときや、**「燃えないゴミ」**、**「資源物」**として処分していただくパックテストのチューブは別売品としてあります。



パックテスト(低) 共立理化学研究所の登録商標です。

株式会社 共立理化学研究所  
〒145-0071 東京都大田区田原5-37-71  
TEL.03-3721-8207 FAX.03-3721-0888  
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab.,Co.,p http://kyoritsu-145.co.jp/

200-114

水環境のCOD  
調査キット  
測定時間 5分-30℃  
4分-30℃

第一号 MKS-COD(D)  
有効期限 1 年  
ロット番号 異 常

## 水環境のCOD調査キット 使用法

5分 MKS-COD(D) <低濃度>に必ずお読みください。

試験にCODを測定する前に必ず高濃度測定キットを確認してください。

- キット内容
- パックテスト-COD(低濃度) 1本/箱
  - 標準色く COD(低濃度) 1枚
  - 専用カップ 20ml用 1個
  - 専用チューブ(黄) 1個
  - 専用チューブ(青) 1個
  - 使用法(日本語) 1枚
  - 使用上の注意 1枚

## GOD (Chemical Oxygen Demand) とは?

COD 化学的酸素消費量は、試水に酸化剤(過マンガン酸カリウム)を加えて一定の条件で反応させたときに、試水中有機物の酸化・分解によって消費される酸化剤の量を、対応する酸素の量に換算してあらわしたものです。  
一般的に、水中の有機物の量を表す指標とされています。

## 「川や湖のCODが高い」ということは...

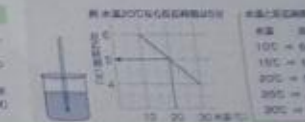
水中の有機物が分解されるときに水中の酸素が消費され、生物が呼吸に利用できなくなる原因となります。また、酸素の不足によって、生物の生存が難しく、川や湖が汚染された状態が保たれる可能性があります。CODが高い川や湖に飲まれる有機物の多くは、生活排水に由来していることが多くあります。川や湖、池の水のCODは食品に由来する人間の活動の有機物を多く含んでいると考えられます。

測定対象 COD 化学的酸素消費量  
測定範囲 0.1mg/L以下  
主 試薬 過マンガン酸カリウム  
測定原理 アリカリン-過マンガン酸カリウム法  
測定時間 5分-30℃  
4分-30℃

※本キットは、化学的酸素消費量の測定にのみ使用できます。  
※COD測定には、COD測定キット(高濃度)と併用する必要があります。

## 測定の前に

- 測定の前には手をよく洗いましょう。
- 直射日光を避けて作業しましょう。
- スポイトと専用カップは、試水30mlを目安に約2mlを  
入れておきましょう。
- スポイトと専用カップは、測定するまで清潔に保ちましょう。
- 試水の水温を測定し、下の表から測定時間を決定します。  
\*測定時間は30℃以下では5分、30℃以上では4分です。  
\*試水の温度と測定時間は両方できる場合があります。



## 測定方法

- ① スポイトで専用カップの目盛りまで試水を  
いれる。(約1.5ml)
- ② パックテスト-CODのチューブ先端の  
ライン(黄色)を引き抜く。  
-ライン以外の部分はできるだけ残さないよう  
注動してください。
- ③ 筒の上にして、筒でチューブの下部を  
強くつまみ、中の空気を追い出す。  
-試水の量が増えすぎると測定結果が低くなる  
可能性があります。
- ④ そのまま③の状態で、穴を  
⑤の試水の中にいれ、つまんだ  
筒をゆるめて、専用カップに  
いったん水を全部溜め込む。  
-試水は、チューブの先端まで  
入ります。  
-必ず一度だけつまんだ筒を、  
筒でチューブの中の水を全部  
取り、あらためて空気をいれて  
ください。
- ⑤ 筒い込むと同時に  
測定時間のカウント  
をスタートする。  
-筒は30秒から3分  
間にわたって  
筒をいれたい。
- ⑥ チューブを軽く5-10回振り回して  
標準色の上に乗せ、色の変化を  
観察しながら待つ。  
-色が白すぎても、測定結果が低  
くなる可能性があります。  
-チューブが軽く振ってください。筒を強く  
こねると測定結果が低くなる可能性があります。
- ⑦ 測定時間がになったら、すぐに標準色  
と比べて測定結果を読み取る。  
-筒をいれすぎると測定結果が低くなる  
可能性があります。  
-筒をいれすぎると測定結果が低くなる  
可能性があります。